

きりえ
切り絵ワークショップ

2/9 (日)

くじゃく はね
~孔雀の羽根をつくろう~

石崎光瑠は京都で活躍した日本画家です。「花鳥画」といって、花や鳥を鮮やかな色彩で描く絵を得意としたことで知られています。作品はとても美しく豪華です。鳥の中でも孔雀を描いた作品も多く、白孔雀や鮮やかな孔雀などが絵の中に登場します。今回のわくわくアトリエでは石崎光瑠の作品を鑑賞したあとに、孔雀の羽根を作ります。様々な色紙を使って切り絵という技法で美しい孔雀の羽根を表現してみましょう。



参考作品：福井利佐氏

- 場所** 静岡県立美術館・実技室
対象 小学生から大人まで
 ※小学3年生以下は保護者にご参加ください
時間 午前の回/10:00~12:30
 午後の回/13:30~16:00
材料費 500円程度
観覧料 一般1400円/70歳以上700円/大学生以下無料
 ※ワークショップ中に展覧会を鑑賞しますので、別途、観覧料が必要となります
定員 各回24名
持ち物 筆記用具・使い慣れたカッター・はさみ(お持ちの方のみ)
 エプロンや作業着など造形活動しやすい服装でお越しください



講師 福井利佐/ふくいりさ (切り絵アーティスト)

1975年、静岡県出身。東京在住。精緻な観察による描写のきめ細やかさと大胆な構図で、観る者を圧倒するような生命力のある線の世界を描き出す。Reebokとのコラボレーションスニーカーや桐野夏生氏の小説への挿画や装丁など、多方面で活躍中。雑誌「婦人画報」表紙の切り絵や、宝生流和の会のメインビジュアル制作、NHK短編小説集「グッド・バイ」の映像制作、NHKBS「猫のしっぽカエルの手」オープニングタイトル制作、「藝文春秋」(水道橋博士著)表紙絵制作などがある。2016年、めぐりりアート静岡参加(静岡県立美術館)。2019年福音館書店「かがくのとも」からの初の絵本「むしたちのおとのせかい」刊行。2021年4月名古屋松坂屋美術館を皮切りに全国を巡回する「サンリオ展」にアーティスト作品で参加。2023年より巡回展「日本の切り絵~7人のミュージズ~」に参加。福井利佐公式サイト | <https://www.risafukui.jp/>

◆◆◆お申込み・お問合せ先◆◆◆

下記のいずれかの方法でお申込みください。定員を超えた場合は抽選となります。

申込受付期間：1/10 (金) ~ 1/22 (水) 必着

抽選結果：1/24 (金) 以降、メールまたはお電話にて抽選結果を順次お知らせいたします。



WEB申込みはこちら

◆FAX ◆郵送 ◆実技室ポストに投函 ◆WEBから申込み

※上記受付期間内にお申込みが定員に満たなかった場合は、以後、先着順にて受付いたします。

県美HPアドレス：<https://spmoa.shizuoka.shizuoka.jp>

静岡県立美術館 学芸課 実技室担当 〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2 TEL：054-263-5857 FAX：054-263-5742

※共催 静岡県立美術館友の会

お申込み用紙



切り絵ワークショップ

~孔雀の羽根をつくろう~

2/9 (日)

フリガナ
お名前

小・中
高・大 年生・大人

代表者 TEL

— —

参加ご希望

(どちらかに○をつけてください)

フリガナ
お名前

小・中
高・大 年生・大人

連絡のつきやすい時間帯

時頃

午前の回

午後の回

小学3年生以下の保護者付添の場合その氏名 ()

メールアドレス

※定員を超えた場合は抽選となります。

※ご記入いただいた内容は、イベントに関する連絡以外には使用いたしません。

@